

平成30年 6月 6日

生命システム科学特別講義

下記のとおり招聘講師による生命システム科学特別講義「分子生命科学」を開催いたしますので、受講大学院生以外にも興味のある方は（学部生も可）ご参集くださいますようにご案内申し上げます。

記

日 時：平成30年 7月 2日（月曜日）

4限目（午後2時40分～午後4時10分）

場 所：庄原キャンパス2302講義室

遠 隔：広島キャンパス1239講義室

三原キャンパス1101講義室

講 師：摂南大学薬学部生体分子分析学研究室（教授）

Professor, Department of Analytics for Biomolecules

Faculty of Pharmaceutical Sciences, Setsunan University

山岸 伸行 (Nobuyuki Yamagishi)

—高度高齢化社会に増加する神経変性疾患の
病態解明への生体分子分析的アプローチ—
(Molecular and biochemical analyses of neurodegenerative disorders)

わが国では未曾有の超高齢化社会を迎え、今後ますます認知症患者が増加すると予想されています。なかでもアルツハイマー病は認知症患者の約半数を占めていますが、現在のところ、根本的な治療法や予防法が存在しません。私たちはこのようなアルツハイマー病をはじめとする種々の神経変性疾患の発症機構の解明やその予防法・治療法開発の糸口の発見を目指して研究しています。本大学院特別講義では、アルツハイマー病を中心にその予防法・治療法開発の糸口に繋がる研究について我々の知見を含めてご紹介したいと思っております。

(This Seminar focuses on recent advances in our understanding of neurodegenerative disorders including Alzheimer's disease.)

連絡先：庄原C（5303）達家雅明
ゲノム制御システム生物学（オーロラ）研究室